



## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 株式会社 LTTバイオファーマ  
 コード番号 4566 URL <http://www.ltt.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 巖  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役研究開発本部長 (氏名) 新居 泰  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月4日

上場取引所 東

TEL 03-5733-7391

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	299	—	△279	—	△170	—	47	—
20年3月期第1四半期	286	1.0	△446	—	△351	—	△354	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	363.96	361.35
20年3月期第1四半期	△5,417.99	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	2,384	1,911	1,911	1,911	80.1	14,492.02
20年3月期	2,785	1,900	1,900	1,900	68.2	14,408.98

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,911百万円 20年3月期 1,900百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	608	△63.8	△486	—	△305	—	178	—	1,349.83
通期	625	△49.3	△723	—	△362	—	121	—	919.64

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 131,869株 20年3月期 131,869株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1株 20年3月期 1株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 131,868株 20年3月期第1四半期 131,868株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月15日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも本資料において修正しております。
2. 本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上部記載のものとなる場合があります。
- 業績予想の前提となる仮定については、2ページ「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
3. 当連結会計年度より「四半期連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題による金融・株式市場の混乱等による不安や、原油価格を筆頭とした工業原材料や食料などの商品価格の上昇が広がりはじめており、先行き不透明感が増しています。

一方、わが国の医薬品業界は国内市場の頭打ち、外資系企業の進出、海外市場の比重アップなどを背景に企業のM&Aが進んでおり、研究開発競争が激化しております。当社の事業領域であるバイオテクノロジー分野においても、世界に通用する新薬開発が重要課題となっております。

このような状況の中、当社は、当第1四半期において前期に引き続き医薬品の研究開発に注力するとともに、新規探索的研究を推進してまいりました。また、EIP技術を中心に表面改質化技術の事業化を進める一方で、ヘルスケア事業からは撤退いたしました。

一方、100%子会社である株式会社ソーレの調剤薬局事業は堅調に推移しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は299,393千円（前年同四半期比4.5%増）、営業損失は279,426千円、経常損失は170,691千円、四半期純利益は47,995千円（前年同四半期比402,738千円増）となりました。

#### （創薬事業）

ナロレチノイド製剤（オバジパーフェクトリフトAA／ロート製薬株式会社）、ステロイド鎮痛消炎剤（ロピオン／科研製薬株式会社）等のロイヤリティ収入により、当事業の売上高は5,533千円（前年同四半期比214.5%増）となりました。

#### （調剤薬局事業）

当事業は、聖マリアンナ医科大学前という好立地を生かして安定した売上を計上した結果、売上高は293,859千円（前年同四半期比3.2%増）となっております。

（注）前年同四半期との増減額および増減率は参考値で、以降も同様です。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### キャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は484,226千円となりました。当第1四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの概況は以下のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、32,133千円のマイナスとなりました。これは主に税金等調整前当期純損失△65,164千円、未払金の減少額△157,715千円、仕入債務の増加額92,836千円、受取保険金100,000千円などによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期における投資活動によるキャッシュ・フローは定期預金の払戻による収入が105,000千円ありました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローはありません。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月15日付当社「平成20年3月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想を下記のとおり訂正ならびに修正いたしました。

通期連結予算策定にあたり持分法による投資損益360百万円を予算計上しておりましたが、前回発表の業績予想において、本来は四半期ごとに按分されるべきところを第2四半期累計期間に全額計上されておりました。したがって第3四半期連結累計期間以降に計上が予定されていた持分法による投資損益180百万円が、第2四半期連結累計期間で過大に計上されていることが判明いたしましたので、第2四半期連結累計期間の連結業績予想について訂正を行うことといたしました。

また、第2四半期連結累計期間の予想四半期純利益については、80百万円減少し178百万円となりました。要因といたしましては上述の持分法による投資損益の影響ならびに当第1四半期の実績として元代表取締役水島裕の死去に伴う受取保険金100百万円を特別利益に計上したことによります。なお、通期の予想当期純利益につきましては前述の受取保険金の影響のみであります。

なお、平成20年5月15日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(第2四半期連結累計期間)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	608	△486	△125	258	1,956 50
今回修正予想 (B)	608	△486	△305	178	1,349 83
増減額 (B-A)	—	—	△180	△80	△606 67
増減率 (%)	—	—	—	△31.0	△31.0
前中間期実績	1,683	△277	△34	△127	△1,677 88

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	625	△723	△362	21	161 31
今回修正予想 (B)	625	△723	△362	121	919 64
増減額 (B-A)	—	—	—	100	758 33
増減率 (%)	—	—	—	470.1	470.1
前期実績	1,233	△1,601	△1,105	△7,172	68,893 56

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(たな卸資産の評価方法)

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切り下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、この変更による営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	484,226	516,360
売掛金	170,817	179,828
たな卸資産	307,816	74,459
商品	22,079	20,247
貯蔵品	285,737	54,211
前渡金	—	300,130
その他	48,624	177,632
貸倒引当金	—	△106,589
流動資産合計	1,011,485	1,141,821
固定資産		
有形固定資産		
建物	34,598	34,598
減価償却累計額	△6,709	△6,596
減損損失累計額	△23,170	△23,170
建物(純額)	4,719	4,832
機械及び装置	29,841	—
減価償却累計額	△1,037	—
減損損失累計額	—	—
機械及び装置(純額)	28,804	—
工具、器具及び備品	23,722	23,532
減価償却累計額	△8,397	△8,352
減損損失累計額	△14,685	△14,685
工具、器具及び備品(純額)	639	494
有形固定資産合計	34,163	5,326
無形固定資産		
のれん	55,000	62,857
特許権	243,750	253,125
その他	1,409	1,527
無形固定資産合計	300,159	317,509
投資その他の資産		
投資有価証券	13,580	13,580
関係会社出資金	516,265	816,710
長期預金	405,000	405,000
破産更生債権等	356,589	250,000
貸倒引当金	△356,589	△250,000
その他	103,906	85,194
投資その他の資産合計	1,038,752	1,320,484
固定資産合計	1,373,075	1,643,320

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産合計	2,384,560	2,785,142
負債の部		
流動負債		
買掛金	260,583	153,308
未払法人税等	8,270	37,258
繰延税金負債	—	117,612
賞与引当金	551	2,841
債務保証損失引当金	30,000	30,000
その他	52,746	391,989
流動負債合計	352,152	733,010
固定負債		
長期未払金	105,000	105,000
退職給付引当金	7,595	12,470
役員退職慰労引当金	1,400	23,282
その他	7,379	11,295
固定負債合計	121,375	152,047
負債合計	473,527	885,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,852,558	1,852,558
資本剰余金	7,784,433	7,784,433
利益剰余金	△7,798,794	△7,846,789
自己株式	△151	△151
株主資本合計	1,838,046	1,790,050
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	72,987	110,033
評価・換算差額等合計	72,987	110,033
純資産合計	1,911,033	1,900,083
負債純資産合計	2,384,560	2,785,142

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	299,393
売上原価	219,399
売上総利益	79,993
販売費及び一般管理費	
研究開発費	110,077
その他の販売費及び一般管理費	249,341
販売費及び一般管理費合計	359,419
営業損失(△)	△279,426
営業外収益	
受取利息	162
持分法による投資利益	103,829
その他	4,741
営業外収益合計	108,734
経常損失(△)	△170,691
特別利益	
受取保険金	100,000
その他	5,527
特別利益合計	105,527
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,164
法人税、住民税及び事業税	3,549
法人税等調整額	△116,709
四半期純利益	47,995

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	△65,164
減価償却費	1,312
のれん償却額	7,857
無形固定資産償却費	9,375
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△21,882
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,874
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,289
受取利息及び受取配当金	△162
受取保険金	△100,000
持分法による投資損益 (△は益)	△103,829
売上債権の増減額 (△は増加)	9,011
たな卸資産の増減額 (△は増加)	119
前渡金の増減額 (△は増加)	35,119
仕入債務の増減額 (△は減少)	92,836
未払金の増減額 (△は減少)	△157,715
その他	△179,177
小計	△479,465
利息及び配当金の受取額	369,241
保険金の受取額	100,000
法人税等の支払額	△21,910
営業活動によるキャッシュ・フロー	△32,133
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の払戻による収入	105,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	105,000
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	72,866
現金及び現金同等物の期首残高	411,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	484,226

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期において、売上高は299,393千円（前年同四半期比4.5%増）、四半期純利益は47,995千円（前年同四半期比402,738千円増）となりましたが、前連結会計年度において、投資有価証券評価損ならびにデューデリジェンス費用等の一時的な費用ならびに第Ⅱ相臨床試験の実施に伴う研究開発費の増加などにより大幅な損失を計上し、営業キャッシュ・フローも連続してマイナスであったことから、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

そうした状況を真摯に受け止め、より安定した経営基盤の確立に向けて財務体質を強化し、経営効率を高めるべく様々な課題に取り組みました。具体的には役員報酬の減額をはじめ徹底的な事業費用の節減を実施するとともに、限られた経営資源を無駄なく効率的に活用するため、継続的に各研究開発プロジェクトの採算性・成長性・必要性を厳しく精査いたしました。結果として、前年同四半期と比較して営業キャッシュ・フローは163,025千円改善しておりますが、当第1四半期のキャッシュ・フローは32,133千円のマイナスとなっております。

また研究開発プロジェクトの成果として、特発性間質性肺炎を適応症としたPC-SODの第Ⅱ相臨床試験終了に伴い、PC-SODのライセンス供与に向けた活動が始まっており、EIP技術を中心とした表面改質化技術の事業化も進展しております。

さらに経営資源の集中の一環として平成20年9月を目処として当社の100%子会社である株式会社ソーレ株式を売却予定であります。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

## (5) セグメント情報

## a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	創薬事業 (千円)	調剤薬局事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,533	293,859	299,393	—	299,393
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,533	293,859	299,393	—	299,393
営業利益 (△損失)	△294,396	14,970	△279,426	—	△279,426

1. 事業内容及び商品、用途、販売方法等を考慮して事業区分を行っております。

2. 各事業の主な商品、事業内容

- |            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| (1) 創薬事業   | DDS技術を利用した医薬品、ならびに化粧品に対するロイヤリティ収入等 |
| (2) 調剤薬局事業 | 医療用医薬品、一般薬の販売                      |

## b. 所在地別セグメント情報

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が100%であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 売上高		286,419 100.0
II 売上原価		219,404 76.6
売上総利益		67,015 23.4
III 販売費及び一般管理費		
1. 研究開発費	293,204	
2. その他の販売費及び 一般管理費	219,959	513,164 179.2
営業損失		446,149 155.8
IV 営業外収益		
1. 持分法による投資利益	92,758	
2. 補助金収入	—	
3. その他	1,974	94,733 33.1
V 営業外費用		
1. 株式交付費	—	
2. 新株発行費	—	
3. その他	—	—
経常損失		351,415 122.7
VI 特別損失		—
税金等調整前第1四 半期(当期)純損失		351,415 122.7
法人税、住民税及び 事業税	2,036	
法人税等調整額	1,291	3,327 1.2
第1四半期(当期) 純損失		354,743 123.9

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前第1四半期(当期)純損失	△351,415
減価償却費	17,566
減損損失	—
役員退職慰労引当金の増減額	—
退職給付引当金の増減額	2,620
賞与引当金の増減額	△3,159
受取利息及び配当金	△748
補助金収入	—
持分法による投資利益	△92,759
株式交付費	—
新株発行費	—
売上債権の増減額	14,249
たな卸資産の増減額	△14,700
前渡金の増減額	△53,606
仕入債務の増減額	48,774
未払金の増減額	14,804
その他	△9,458
小計	△427,832
利息及び配当金の受取額	237,502
補助金の受領額	—
法人税等の還付額	—
法人税等の支払額	△4,828
営業活動によるキャッシュ・フロー	△195,158

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△310,000
定期預金の払戻による収入	—
有価証券の取得による支出	—
有価証券の売却による収入	—
有形固定資産の取得による支出	—
無形固定資産の取得による支出	—
投資有価証券の取得による支出	—
関係会社への貸付けによる支出	—
関係会社への貸付けの回収による収入	150,000
その他	187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,812
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
社債の償還による支出	—
株式の発行による収入	—
自己株式の取得による支出	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	—
IV 現金及び現金同等物の増減額	△354,970
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,022,641
VI 現金及び現金同等物の第1四半期末(期末)残高	1,667,671

## (3) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	創薬事業 (千円)	調剤薬局事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連 結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,759	284,659	286,419	—	286,419
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	1,759	284,659	286,419	—	286,419
営業費用	455,680	276,888	732,568	—	732,568
営業利益又は営業損失 (△)	△453,920	7,770	△446,149	—	△446,149

(注) 1. 事業内容及び商品、用途、販売方法等を考慮して事業区分を行っています。

2. 各事業の主な商品、事業内容

- (1) 創薬事業            DDS技術を利用した医薬品、ならびに化粧品に対するロイヤリティ収入等
- (2) 調剤薬局事業    医療用医薬品、一般薬の販売

## 【所在地別セグメント情報】

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が100%であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。